

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2019年度第1回事業審査委員会 議事録

1 日時：2019年11月19日(火) 18:00~19:40

2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室

3 出席者の確認

事業審査委員総数5名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

学識経験者：石井 正子（欠席につき表決権委任：永井委員）

外務省：佐藤 靖

学識経験者：堀場 明子（欠席につき表決権委任：議長）

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：岡野 恭子

議長は事業審査委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

4 報告事項

(1) JEN・ADRA未精算事業現状報告

事務局よりそれぞれの団体に関し下記の通り報告した。

・JEN

1案件（平成27年度シリア・イラク）について証憑確認中であり郵送審議予定。

・ADRA

1案件（平成25年度シリア）についてメール審議中。助成金額確定後に郵送審議予定。

(2) 郵送審議等回覧先についての確認

事務局より、郵送審議等回覧先について報告した。

(3) モニタリング・評価の運営方針について

事務局より、今後のモニタリング・評価の運営方針について報告した。

5 審議事項

(1) 第一号議案：事業審査委員長の選任

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

石井委員を事業審査委員長とする。

承認。

(2) 第二号議案：南スーダン難民緊急支援にかかる事業計画書の承認

〈SPJ〉ウガンダ北部における南スーダン難民への心理社会的支援強化事業

結果：承認。

事業審査分科会での結果：承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 本事業対象地であるユンベ県ビディビディ居住区のニーズの全体像を明確にしてください。
2. 本事業におけるモニタリングの重要性を十分に考慮し、事業を実施していただきたい。
3. 各アクター（他団体・コミュニティ含）との連携・ネットワーク・調整を念頭に事業を実施していただきたい。

<PLAN> ウガンダ、アルア県のライノ難民居住区とホスト・コミュニティにおける紛争の影響を受けた若者に対する保護、教育、生計向上支援事業

結果：再提出。

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での再提出理由：

本申請事業で提案されている多岐にわたる活動の手法および指標が、掲げられている事業目的にどのようにつながっていくのかについて説得力のある説明が得られなかった、今一度活動内容を再考した上で、活動の核となる部分を見極めて、よりのを絞った事業計画の立案が求められる。

<AAR> ウガンダ共和国北部南スーダン難民居住地における教育支援

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コンポーネント1、2、3のそれぞれの必要性および緊急性がより明確になるように説明を追記すること。
2. 前期事業・現行事業で行っている活動から得られた知見が本申請事業の計画にどのように活かされていることがわかるように、説明を追記すること。

<PWJ> ウガンダ北部における南スーダン難民への住居支援および公共施設における水衛生支援

結果：承認。

事業審査分科会での結果：承認

事業審査分科会でのコメント：

1. 建設する焼却炉が適切に使用されるよう、きめ細やかな助言やモニタリングを徹底していただきたい。

〈WVJ〉 アッパーナイルにおける緊急期の教育支援事業

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 教員手当がなぜ必要なのか、また、持続性の観点から、事業終了後、どのように手当を継続していくのか、他機関や他団体の支援方針、見通し等を含め、より詳細な説明をして頂きたい。
2. トイレについて、建設予定地での水の確保手段について明記して頂きたい。
3. 車両の費用について金額の妥当性、代替案が無いのかどうかも含め、加筆して頂きたい。

〈PWJ〉 ジュベック、トリット、ジョングレイ州における紛争影響下の人々への人道支援

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. ログフレームの再検討：指標の目標数値とベースラインを併記し、期待される事業効果を定量的に明示して頂きたい。または事業の目的に合わせた適切な指標設定の観点から指標そのものの変更も視野に入れ、再検討して頂きたい。
2. コンポーネント3の保護支援について何故ホストコミュニティのみを対象としているのか、他団体との調整など、加筆して頂きたい。
3. コンポーネント2の小学校共用トイレについて、22基の根拠を再確認して頂きたい。
4. 事業進捗状況管理表について、特に建設関連活動の月次期間を再考して頂きたい。

〈PLAN〉 白ナイル州の難民キャンプとホストコミュニティにおける衛生および医療施設改善事業

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コンポーネント1、2の関連性および難民キャンプとホストコミュニティでの活動内容の整合性を追記して頂きたい。
2. 世帯トイレについて裨益者の中で高齢者・障がい者はどのように維持管理するのか、また、清掃・手洗い用品の配布などのモニタリング体制を追記して頂きたい。
3. 現地事業統括が新規採用予定となっているが、重要なポジションであるため、どのように人材確保するのか、団体の見解を述べて頂きたい。

(3) 第三号議案：ミャンマー避難民人道支援にかかる事業計画書の承認

〈PWJ〉 コックスバザール県におけるミャンマー避難民およびホストコミュニティのための
基礎的医療・母子保健支援および保健衛生啓発事業

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認。

事業審査分科会での条件：

1. ログフレームの指標をより明確にすること
2. 予算書を全体的に見直すこと（人件費、薬剤、車両等）
3. コンポーネント3に関し、事業終了時に十分な成果が得られるよう、行動計画を見直し、活動内容を詰めること

〈WVJ〉 バングラデシュへの避難民居住地におけるジェンダーに基づく暴力からの保護とコミュニティの対応力強化事業

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認。

事業審査分科会での条件：

1. 事業計画書「概要表」に記載されている内容から不要な記述は削除し、必要事項のみを記載し、1ページ程度に収めること。
2. 事業計画書に記載されている各コンポーネントの内容や対象に統一性がなく、また審査会での説明と齟齬があるため、再度整理し、申請書を修正すること。
3. 男性用研修スペースの建設について、男性向け研修を実施する場所、および男性の居場所を確保する、という目的だけでは、本事業において建設する妥当性が低い。多目的スペースとして、女性や子どもも利用できるような設計にするなど、目的と使用方法を再考すること。併せて、維持管理をコミュニティに一任するのではなく、多目的に利用されることが担保されるよう、またセーフガーディングが確保されるよう、維持管理体制も再考すること。
4. 活動が多岐に渡るが、様々な活動が一つの事業の中でどのように関連するのか、事業計画書内で明確に説明すること。
5. 宗教指導者（特に、ホストコミュニティの宗教指導者）を啓発活動の対象とする背景・理由（目指す成果の見込みを含む）を事業計画書内で明確に説明すること。
6. ログフレームの成果（outcome）が活動（output）になっているなど、全体的に適切な記述になっていないため、記載内容を再考すること。

事業審査分科会でのコメント：

1. 複数の団体が類似の事業を実施している中で、GBV問題へ体系的なアプローチがとられるよう、WVJとして積極的に働きかけていただきたい。

〈AAR〉 ミャンマー避難民の女性と子供の保護およびホストコミュニティにおける水衛生環境改善、能力強化支援事業

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認。

事業審査分科会での条件：

1. コンポーネント1のイベントや個別支援経費について審査会で説明された内容を申請書に記載すること。
2. コンポーネント2の学校選定について、ニーズアセスメントの結果を明確にし、現地で調整した上で、申請書に加筆すること。
3. コンポーネント3の能力強化コース内容について、ニーズアセスメント、またfood securityセクター内の調整に基づいて、内容を決定するとともに、ジェンダー暴力の予防など保護セクターの要素も一部取り入れて、コンポーネント1との相乗効果をはかること

〈PLAN〉 バングラデシュ・コックスバザール県におけるミャンマー避難民とホストコミュニティの若者を対象とした教育サポート事業

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 現行事業と本申請事業の期間が一部重複する予定であることを踏まえて、本申請事業のコンポーネント2で予定しているホストコミュニティ向けの活動と、現行事業で計画しているホストコミュニティ向けの活動が同時に行われる可能性があることから、それぞれの事業を区別して重複しないように整理し、管理する方法を明記すること。
2. ログフレームの指標をより質的なものになるよう、見直すこと。
3. 予算書に言及がある、中間レビューおよび評価に関する詳細およびモニタリング体制について申請書に追記すること。
4. コンポーネント1の教育支援については、若者の居場所をつくるという意味合いもあるという説明があった。申請書にも教育支援という視点と居場所づくりの視点を組み合わせた活動であることを記載し、教育面の達成度以外の効果を成果の指標として取り入れること。

事業審査分科会でのコメント：プラン・インターナショナル・ジャパンがイニシアティブをとりながら若者の教育支援に携わっていることを示していただきたい。

〈SCJ〉 バングラデシュ・コックスバザール県におけるミャンマー避難民に対する包括的保健サービス提供事業

結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 医療の質を担保できるよう、人材の確保も含め組織体制を整備すること。
2. ログフレームも含め、指標を見直したうえで、SCJが医療の専門的な観点から活動の実施およびモニタリングできる体制を構築すること。（特に、薬剤の在庫管理についても検討すること）
3. 日本の支援であることのビジビリティやODA資金で実施する意義を示すこと。

4. 以下の点について、申請書の必要な部分を修正すること。

- ① ヘルスポストにおける医療の質をモニタリングする方法に関し具体的な指標、質に関しクリアすべき目標値や基準を設定すること。（例：不要な抗生剤の処方による副作用や耐性菌発生を防ぐための基準や目標値の設定）
- ② ヘルスポストにおける医療サービスの内容とニーズが合致しているか確認する方法を検討すること。
- ③ 栄養支援の対象と手順をより明確に記載すること。
- ④ 心理社会的な問題に関し、支援が必要な者が同定された場合の支援内容の例や「地域精神保健・心理社会的支援ワーカー」「心理社会的支援担当」の資格を明確にし、活動の質の確保が評価できるようにすること。
- ⑤ 受益者数の積算根拠を記載すること。
- ⑥ 「コックスバザール保健セクター内の協議においても、当該地域に対する支援の強化が必要とされている」に関し、強化が必要とされた経緯を記載すること。

(4) 第四号議案：パレスチナ・ガザ人道危機対応支援にかかる事業計画書の承認

〈PWJ〉ガザ地区における脆弱な未就学児および家族・幼稚園への保健・栄養支援2期
結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 現行事業（第1期）の成果および、それを踏まえた改善点をまとめ、それを基に本事業（第2期）の目標達成の見通しを事業計画書内にて明記すること。

事業審査分科会でのコメント：

1. なぜPWJがガザにおいて栄養改善事業を計画したのか、この事業の意義及び事業形成の背景を事業計画書内で明記するようにしていただきたい。
2. 第3期事業を申請する際は、先行事業の成果をより明確に示していただきたい。

(5) 第五号議案：イエメン人道危機対応支援にかかる事業計画書の承認

〈ICAN〉イエメン西岸地域における紛争被害者に対する緊急食糧提供事業
結果：条件付き承認。

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 調整会議の実施について記載を追記し、改善したモニタリング体制・調査会議を確実に施行すること。
2. 現場にて団体としてのVisibilityおよびプレゼンスを示すこと。
3. 裨益者選定のプロセスにて団体が具体的にどのように関わるのか等、詳細を追記すること。
4. JPFの助成ガイドラインを順守すること（月報提出の遅延があるので×切を守る）。

6 書面による報告

- ① NGOユニットからの報告
- ② 事業計画変更の報告
- ③ JPF事務局審議結果の報告
- ④ 固定資産処理の報告
- ⑤ 終了報告書審議結果の報告
- ⑥ コアチームの報告

7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

2019年度第2回事業審査委員会：2019年12月20日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2019年度第3回事業審査委員会：2020年1月24日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2019年度第4回事業審査委員会：2020年2月21日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2019年度第5回事業審査委員会：2020年3月23日(月) 麴町GN安田ビル4F会議室

以上